

平成30年度版 改善計画

学校名：甲府市立千代田小学校

No.	項目	現状と課題	H31年度に目指すべき状態	①H30年度に実施する内容 ②H31年度に向けて検討する内容	達成状況
1	会議等の効率化	・終礼や職員会議が定刻に終わらない。	・終礼や職員会議は退勤時刻までに終了し、定刻には退勤できる状況をつくる。	①職員会議の議題における「討議事項」については、前年度からの課題点、討議すべき点等を明確にした提案をする。 ①職員会議資料の事前配布を行い、事前に一読しておく。 ①終礼や職員会議における連絡事項は、簡潔にポイントのみを伝える。 ②2「学校行事の負担軽減」3「校内組織の見直し」の視点からも、提案者はしっかり反省を行い、修正点などから提案内容を再考し、H31年度に向けて精選した提案を行う。	
2	学校行事の負担軽減	・これまで行事の見直しを行ってきたが、地区との連携行事も多く、省くことが難しい状況にある。 ・小規模校のため、行事全てが全校行事となり、全教職員が関わり、休み時間等の時間がつぶれることが多い。	・休み時間の活動の運用スタイルを改善することで、子どもと向き合うための休み時間を確保する。	①担当者は、主に行事の内容面と運用面について見直しを行う。 ②行事の内容面と運用面について、今年度の実践を踏まえた反省を基に H31年度の行事の持ち方を検討する。	
3	校内組織の見直し	・小規模校のため、一人が抱える校務分掌の数が多く、それに伴う出張が多い。	・主に組織や運用システム改善の視点から、スリム化をめざした体制をつくる。 ・改善点を明確にした文書管理を行うことで、だれが担当しても企画・運営の見通しが持てるデータ共有環境を整え、H31年度にスムーズに移行していけるようにする。	①担当した分掌については、上記2「学校行事の負担軽減」①②の視点からの実践を行う。 ②上記①の妥当性について検討する。	
4	業務の効率化	・一人の担当する分掌が多いため、処理しなくてはならない文書が多くなり、その処理に多くの時間が割かれている。とりわけ、提出書類については、調査関係の書類作成と報告関係に多くの時間が割かれている。	・過年度の実績データの共有環境をつくり、活用できるデータは文書作成に生かす。その際、H30年度における改善点を明確にしておく。	①調査関係、報告関係のデータについては、共有ファイルに保存し次年度以降の参考データとして生かす。 ①行事などの反省は、行事直後に共通ファイルに入力してもらい、担当が課題点を明らかにして回覧し、職員の共通理解と次年度への改善につなげる。 ②共有ファイルについての教職員間の共通認識とリストの作成、更新を行う。	
5	部活動の負担軽減				
6	地域人材の活用	・読み聞かせボランティア、食生活改善推進員等の保護者及び地域人材についてのリストアップはほぼできている。 ・人材活用の見直しをもって授業計画が立てられるよう教育課程への位置づけを明記する。	・現状維持	①人材リストの更新作業と活用、新たな人材確保に取り組む。 ②検討事項はなし。	
7	(学校独自の項目)				
8	(学校独自の項目)				

※達成状況:次のA～Dで評価し、各年度末に甲府市教育委員会に提出する。 A 達成できた B ある程度は達成できた C あまり達成できなかった D 達成できなかった

●H30年度における「きずなの日」の年間回数(予定) 17 回